

『日本平ホテル』編

充実の機能はもちろん、使う側の立場に立ち、使いやすさを徹底的に究めた業務システム

ヤマトタケルの古事にちなみその名が付けられたといわれる日本平。日本の観光地100選にも名を連ね、県立自然公園に指定された風光明媚なこの丘陵地に、これまでの施設をすべて建て替え、今年新たに生まれ変わってオープンしたのが日本平ホテルだ。美しい眺望やロケーション、地元食材を使った料理で人気を誇る同ホテルの婚礼・宴会部門が、新たなパートナーとして選んだのが(株)ユニコーンの婚礼・宴会総合支援システム「BV Manager」だ。

(取材協力)日本平ホテル <http://www.ndhl.jp/>



庭園からのホテル外観

一からスタートしたシステム導入

日本平ホテルは、正面に富士山を仰ぎ、眼下には駿河湾を見渡す抜群の眺望を誇る日本有数の景勝地である日本平に1964年に日本平観光ホテルとしてオープンし、約半世紀にわたり多くの人々に愛されてきた。静岡市の日本平公園整備事業に伴い、これまでの施設を全館建て替えし、新たに国際水準の施設を誇るホテルとして生まれ変わった。これまでと同様に、玄関を入った正面に富士山を仰ぎ見ることができ、数多くの映画やドラマのロケにも使われた野外庭園の美しさも健在。またホテルから見下ろす静岡市街や駿河湾の夜景の美しさも格別という絶好のロケーションで、新しい日本平を象徴する施設として、9月の再スタート前から予約が殺到し、ウエディングや宴会部門ではこれまで以上にぎわいを見せているという。そして、そんな同施設の婚礼・宴会部門を支えるのがユニコーンの婚礼・宴会総合支援システム「BV Manager」だ。

「日本平ホテルは、ゴルフ場を経営するグループ会社の一事業所だったため、これまでのシステムはゴルフ場管理システムに宿泊の機能を追加

する形で管理を行っており、婚礼・宴会については、台帳やEXCELなどを使って管理するといった状態で、その意味ではシステム化されていなかったと言えるかと思いますが」と建て替え前の状況を語るのは、今回のシステム導入を担当した日本平ホテルのグループ会社、株式会社東興 社長室 総合企画部の松永文博氏。

「静岡市の日本平公園整備事業に伴い、施設を単独で管理・運営していくために、本格的なホテルシステムを導入しようという目的で、プロジェクトチームを立ち上げました。その後、展示会で話を聞いたり、ほかの施設の状況をヒアリングしたり、関連システムベンダー各社にプレゼンをしてもらったりして検討した結果、婚礼・宴会システムについては、デフォルトの状態で作れる機能、インターフェイス等のビジュアル、これまでの導入実績などから「BV Manager」が満場一致で選ばれました」

いかに優れたシステムでも、それぞれ一長一短はあるもので、なかなか満場一致という形で決まることは少ないのだが、日本平ホテルと「BV



株式会社東興
社長室 総合企画部総合企画課 主任
松永文博氏



日本平ホテル
販売部 宴会予約マネージャー
後藤俊幸氏

Manager」はそれだけ運命的な巡り会いだったと言えるのかもしれない。

現場の使いやすさか、データ連携かシステムを巡る葛藤

しかし、「BV Manager」が導入されるまで、必ずしもトントン拍子に話が進んだわけではないという。

「導入するシステムの決定に関してはスムーズに進行したのですが、実はその前段階で、ホテル全体のシステム導入に関する方針決定までに紆余曲折がありました」と苦笑するのは、ウエディング部門でシステム導入にかかわった後藤俊幸氏。

「宿泊を含めたホテル全体の情報共有およびデータ連携を考えて、トータルシステムを導入するか、それとも部門ごとに使い勝手の良いシステムを



霊峰富士、静岡市街を臨む素晴らしい眺望を楽しむことができる

選んで、データを連携させようかという選択をしなかったとき、一度はトータルシステムを導入することになりましたが、その後、トータルシステムを導入したほかの施設などにヒアリングした結果、システムありきになりがちで、業務の流れをシステムに合わせなければならないなど、改めて問題点が浮上し、現場サイドから再検討を強く要望する声がありました。その結果、部門ごとに使いやすいシステムを導入し、その中でデータの連携を構築しようということに落ち着きました。その中でユニコーンを選んだのは、使いやすさはもちろんですが、担当者の対応が良かったことも大きかったです。データ連携で問題が起きた場合に、すぐに対応してくれる安心感は重要でした」

現場の使いやすさをとるか、それとも部門間のスムーズなデータ連携をとるのか、新しいシステムの導入時には、どのホテルでも必ずといっていいほど問題となるテーマだ。もちろんそれぞれの施設の事情によって選択は異なるだろうが、これまで「BV Manager」をほかのシステムと問題なく連携させてきたユニコーンのカスタマイズ力と、問題解決のためのきめ細かなフォローを考えたら、現場サイドの使い勝手を優先させたというのが正解だろうか。

BV Managerとは

株式会社ユニコーンがホテルの婚礼・集宴会に必要な機能を可能な限り搭載した婚礼・集宴会総合支援システム。業務管理、予約管理はもちろん売り上げ分析など、各種営業データの分析機能までを完全網羅。ホテルの婚礼／宴会部門を強力に後押しする。日本における同部門の業務の流れをきちんと理解し、設計されたシステム構成やインターフェイスと、柔軟なカスタマイズによる対応で、真の意味でのソリューションをホテルに提供してくれるだろう。またホテルの規模やニーズに合わせて、テーブルプラン編集システム「BV Draft」など、関連システムの豊富なラインアップも魅力的だ。

The screenshot shows a software interface with a calendar view on the left and a data grid on the right. The calendar has dates from 1 to 24. The data grid has columns for '予約状況' (Reservation Status), '予約数' (Reservation Count), and '予約金額' (Reservation Amount). The grid contains various colored cells representing different reservation statuses and counts for different dates.

〈お問い合わせ先〉株式会社ユニコーン

東京事業本部 ☎03-6808-1237 大阪本社 ☎06-6943-4560 <http://www.atlantis21.co.jp/>

「異なるシステム間でのデータ連携については、まだホテルが稼働して間がないので、この形が正しかったのかは、さらに時間をかけて検証してみないと分からないです。ただ、複数のシステムを行き来するマスターデータを登録する際に、かなり手間と時間が掛かったというのは確かですが」と後藤氏は笑う。

「当たり前」が実現できることの重要性

では実際に「BV Manager」の使用状況について両氏に尋ねてみた。現在同ホテルでは「BV Manager」25ライセンスと「BV Draft」3ライセンスが稼働中だ。

「ホテルの再開業の約1年前に準備室とプライダル予約センターを静岡市内に立ち上げました。その関係で新しいシステムの操作もその期間に習得することができたので、安心して再オープンを迎えることができまし

た。現場からは使いやすく、シンプルで、特に予約状況画面が時系列で確認できてありがたいと聞いています」と語るのは松永氏。今後は「BV Sales」などモバイル製品を導入し、営業の強化をもくろんでいるという。

「現場の人間にとっては、インターフェイス画面の分割だとか、文字の大きさ、あるいは別画面に移る際のタブの位置だとか、直感的かつストレスなく操作ができるのが何よりです。更新履歴等もしっかりチェックできるので、セキュリティの面でも安心です。何より「BV Manager」を使っていて、普段の業務が何の問題もなく、当たり前にならなくていいということにこのシステムを導入した価値があるのではないかと思います」と特別な機能よりも日常業務が大切と語るのは後藤氏。今後は顧客管理の充実と帳票類を活用した分析業務など「BV Manager」の持つ機能をさらに一歩進んで使いこなして行きたいと意欲を燃やしている。